

2021年5月20日

～ 良品計画と共に「感じ良いくらし」を創る ～ 「SOMPOケア そんぽの家 難波稲荷」のリノベーションが完成

SOMPOケア株式会社（本社：東京都品川区／代表取締役社長 遠藤 健、以下「当社」）は、株式会社良品計画（本社：東京都豊島区／代表取締役社長 松崎 暁、以下「良品計画」）と共同で、地域に根ざし、ご利用者や社員にとって「感じ良いくらし」を創るプロジェクトを2018年にスタートし、これまでに東京都内3施設でリノベーションを実施してきました。

このたび、介護付きホーム「SOMPOケア そんぽの家 難波稲荷」（大阪府大阪市／以下 そんぽの家 難波稲荷）（※）において、関西エリアで初めてとなる良品計画のデザインによるリノベーションが完成しましたのでお知らせします。また、同ホームでは併せて「認知症のある方にもやさしいデザイン」を取り入れ、さまざまな工夫を施しました。

※ そんぽの家 難波稲荷は、6月1日に施設名称を「そんぽの家 なんば」へ変更する予定です。



「そんぽの家 難波稲荷」リノベーション例

1. 背景と目的

良品計画とのプロジェクトは、ご入居者が快適に過ごすことができ、また社員が働きやすい空間をつくることを目的に、2018年にスタートしました。当社では、高齢者が自分らしく、認知症のある方や身体に障がいがある方も誰もが過ごしやすい、機能的な住まいのあり方を検討しており、人間にとって自然な「心地よさ」を提供し、「感じ良いくらし」の実現を目指す良品計画との意見交換を、現在に至るまで継続しています。

そんぽの家 難波稲荷（2005年12月設立）は開設から15年が経過し、建物の経年劣化に加えて、職員用スペースである事務室が収納力や利便性に欠けるなどの、課題や不自由さを抱えていました。このた

びのリノベーションにおいては、コンセプト形成から良品計画の協力を得て空間づくりを進め、「認知症のある方にもやさしい」をテーマに、1階のエントランスや8階のダイニングなど各階の共有スペースを中心に改修を行いました。各階に新しく設けた談話スペースは、リラックス効果や交流の活発化が期待できる、寛ぎの空間です（※）。さらに、エレベーター前の壁を職員自ら塗装するとともに、家族型ロボットを導入するなど、これまで以上に愛着を感じるホームとなりました。

※現在は、新型コロナウイルス感染予防の観点から、談話スペース等共有空間の本格活用は行っておりません。

2. リノベーションの概要

ご入居者にとってより良い暮らしとその継続を支援するため、また、職員にとっても過ごしやすく働きやすい空間となるよう工夫を凝らした、リノベーションの一部をご紹介します。

なお、今回のリノベーションに関し、無印良品に関する情報をお手元でいつでも確認できる携帯アプリ「MUJI passport」(<https://www.muji.com/jp/passport/>)において、「無印良品 銀座およびグランフロント大阪」から事例紹介の記事配信を予定しています。（銀座：5月24日から配信、グランフロント大阪：6月上旬以降の配信を予定）

（1）「認知症の方にもやさしいデザイン」

① エントランス（1階）

新たに、下足箱と洗面台を設置しました。これまでは入館時に靴を履き替える必要はありませんでしたが、館内の衛生環境を保つため、リノベーションを機に土足禁止とし、入館と同時に手洗い・うがい・消毒ができるようにしました。また、エントランス全体が、良品計画ならではの温かみのある木を基調にしたデザインとなっており、認知症のある方や障がいのある方、どなたにもやさしい印象を与えるとともに、使いやすい作りになりました。



洗面台・下足箱



エントランス

② ダイニング（8階）

ダイニングには、会話を促す円卓を設置しました。認知症のある方は視野が狭くなり、周囲の人を認識しにくくなるがありますが、円卓では認識しやすく、周囲の人と会話がしやすくなります。また、身体の大きさに合わせてテーブルの高さが調節でき、椅子もレギュラーサイズ、コンパクトサイズの2種類から選べるようになりました。



リノベーション前



リノベーション後

③ 各階エレベーター正面の壁

視覚機能が低下しやすい高齢者の見当識の支援として、エレベーターを降りた正面の壁色を各階で変えています。これにより、現在いる場所が認識しやすくなりました。



3階（薄肌色）



5階（薄オレンジ）



6階（水色）

④ 適切な高さに設置された誘導サイン

姿勢が前かがみのご入居者や、車いすを使用しているご入居者の目に入りやすいように、誘導のためのサインを、床から約1.2メートル程度の高さに設置しました。良品計画がデザインしたサインは、絵と文字を併用しており、一目で設備が認識できます。



認識しやすい高さに設置したサイン

(2) 「はたらく場を整える」

① 事務室での業務がスムーズに

今まで使用していた扉付きの書類棚から、目的の書類を一目で確認できる収納棚へと変更しました。また、天然木（杉材）を使用した長机の導入により、職員同士のコミュニケーションが円滑となり、仕事の効率化が期待できる空間となりました。

② 職員によるDIY作業

職員自らが壁の塗装を行いました。DIY作業を行うことで連帯感が生まれ、職場環境に愛着がわき、はたらく場を自分のこととして考えるきっかけとなりました。



収納場所が一目でわかる棚の設置



スタッフ自ら仕上げをする様子

(3) その他

まるで生きているかのような温かみのあるロボット「LOVOT（らぼっと）」を導入しました。見つめたり、抱っこをねだったりと感情に働きかけるため、認知症のある方をはじめ、より多くのご入居者がコミュニケーションをとるきっかけになると考えています。



イメージ画像

3. 今後について

当社はこれからも、ご利用者の介護や住まいに対するニーズ把握に努めるとともに、新しいコミュニティや関係性を構築する基盤を提供し、ご利用者のQOL（生活の質）向上や地域社会への貢献を目指します。

《企業概要》

■株式会社良品計画

- 設立 1989年6月
- 資本金 67億6,625万円
- 本社所在地 東京都豊島区東池袋4-26-3
- 紹介 1980年に西友（現合同会社西友）のプライベートブランドとして誕生した「無印良品」の、企画開発・製造から販売までを行う製造小売業として、1989年に西友から独立しました。衣料品から家庭用品、食品など日常生活全般にわたる商品群を展開し、その店舗数は2021年2月現在、日本を含む33の国・地域で1000店を超えています。

■SOMPOケア株式会社

- 設立 1997年5月
- 資本金 39億2,516万円
- 株主構成 SOMPOホールディングス株式会社
- 本社所在地 東京都品川区東品川4-12-8品川シーサイドイーストタワー
- 紹介 現在、全国に約280の介護付きホーム、約140のサービス付き高齢者住宅、約20のグループホーム、約560の在宅サービス事業所を展開しています。地域のみなさまに寄り添い施設介護から在宅介護までフルラインナップでサービスの充実を図っていきます。

以上